

入っでくるな！ 米軍は日本の港湾に

2023年の米軍艦入港は、 この10年で最多の12回

NHKの報道によると、米軍艦艇の日本への入港が2023年は12回で、この10年間で最多です。県別の入港回数は右下の表のとおりで、南西諸島周辺が顕著です。入港目的は鹿児島が「訓練」で、その他は「補給」「給油」「乗組員の休養」「親善」です。

この背景には、昨年1月の日米両政府の「港湾や空港の柔軟な使用が有事においては重要」との確認があり、今後も増えることが予想されます。

報道では、海上自衛隊元海将の「有事も念頭に艦艇や乗組員に被害が出た場合を想定して、使用できる港を増やしたいという狙いがある」との発言を紹介しています。

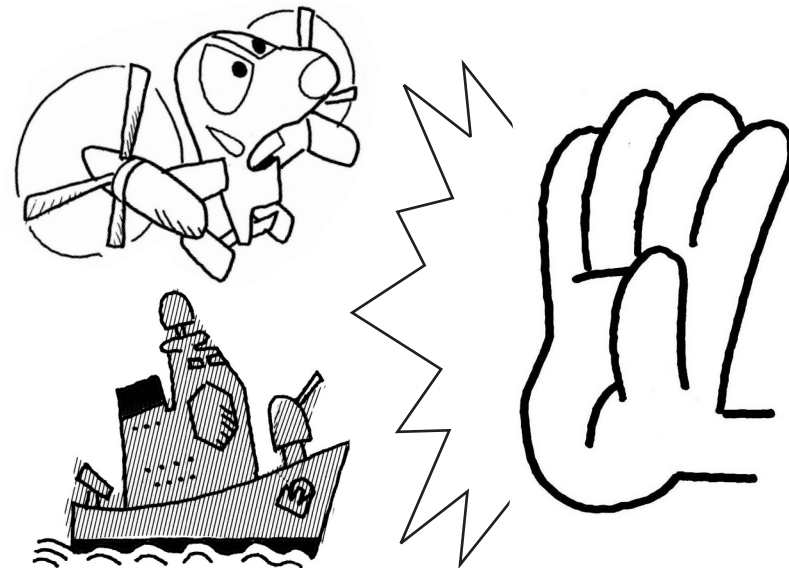
日本の港湾は流通や貿易産業・海運などのためのもので、アメリカ軍の臨時基地ではありません。日米両政府の確認があろうとも、米軍の入港は許されません。

墜落原因もわかってないのに…

オスプレイの飛行再開、絶対反対！

昨年11月の事故以来、米軍は全世界で垂直離着陸機オスプレイの飛行を停止していましたが、「米国の防衛に不可欠」として3月8日に停止を解除しました。在日米軍は3月14日に普天間基地のオスプレイの飛行を強行し、自衛隊は3月21日に木更津駐屯地に暫定配備中のオスプレイの飛行を再開しました。

横田基地所属のオスプレイが屋久島沖で墜落し、乗組員8人全員が死亡した事故の原因は特定されていません。米軍から説明を受けた木原防衛相は、「詳細は対外的に明らかにできない」として国民への説明を拒否しました。欠陥機と言われるオスプレイの飛行は絶対に認められません。政府には国民の命を守る義務があります。主権国家として、米軍に飛行停止を申し入れるべきです。



2023年の県別の米軍艦艇入港回数(NHKの取材に基づく)

北海道	宮城	大阪	鹿児島	沖縄
3回	1回	1回	3回	4回

真相を明らかにする気なし、

裏金議員は議員失格！

3月14日、政治資金パーティ裏金事件を質す参院政治倫理審査会が開かれ、世耕弘成前参院幹事長、西田昌司参院議員、橋本聖子元五輪相が出席しました。野党の追及に対し、世耕氏は「過程に関与していないので説明できない」と他人事扱いし、西田氏は「そういう記憶をしていない」としらを切り、橋本氏は「会計や経理に一切関わっていない」と秘書に責任を押し付けました。

3月18日には衆院政治倫理審査会が開かれ、下村博文元文科相が出席しましたが、「わからない」「関与していない」に終始しました。

自らの疑惑を説明する気がなく、反省の姿勢も見られず法律違反の認識もありません。政治を司る資格のない裏金議員は、辞職すべきです。

